令和7年第12回定例公安委員会会議録

開催日時 令和7年4月17日(木) 午前11時10分～午後2時35分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時5分

2 出席者

公安委員会 勝部委員長 久本委員 笠田委員

警察本部 青山警察本部長 森本警務部長 渡邊首席監察官
山柘生活安全部長 細田刑事部長 宮田交通部長
山本警察学校長 永井情報通信部長 若林警備部総括参事官
生田警務部参事官

(事務局等～柳原公安委員会補佐室長、総務課員)

3 議題事項

鳥取県留置施設視察委員会委員の任命(令和7年度)(警務部)

警察本部

鳥取県留置施設視察委員会委員の任命については、鳥取県留置施設視察委員会委員の任命及び解任等の手続きに関する規程に基づき、警察本部長から公安委員会に対し、委員にふさわしい方を上申し、任命していただいている。

今年度の委員は、医師会、自治会連合会から推薦いただいた2人の新任と、弁護士会、教育委員会から推薦いただいた2人の再任の了解をいただいているところである。

留置施設視察委員会の位置付けについては、刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律に基づき、留置施設の適正な運営を図るため、留置業務管理者である警察署長に対して、運用について意見を述べる機関であり、警察部外の第三者で構成されている。委員会は警察本部に置き、委員会からの意見や、意見を受けて警察が講じた措置については、毎年県警察ホームページで公表している。

委員については、人格識見が高い方を任命することとされており、平成17年

に監獄法が刑事収容施設法に改正される際に、委員には地域住民のほか、弁護士等の法律関係者、医師、地方公共団体の職員等を含めることが望ましいとの有識者からの提言があり、当県警察においても鳥取県留置施設視察委員会設置当初から、弁護士会、医師会、教育委員会又は地方公共団体、自治会連合会から委員の推薦を受け、公安委員会に上申しているところである。委員の身分は、地方公務員法に規定される特別職の非常勤職員であり、守秘義務が課せられており、違反した場合には罰則がある。本県警察においては、鳥取県留置施設視察委員会条例により、委員の定数は4人とされており、その任期は1年で、2回に限り再任が可能となっていることから、毎年、各関係団体から推薦を受けており、今年度は2人が新規、2人が再任となっている。

留置施設視察委員会の具体的活動内容について、委員には、年に3回、各警察署留置施設を視察していただき、また、被留置者と面接するなどし、留置施設の実情を把握していただいた上で、留置業務管理者である警察署長に意見を述べていただいている。

御承認いただいた上で、委員には任命書を交付するとともに、留置施設の概要や被留置者の推移等について説明し、視察準備を進めることとしている。以上のとおり、鳥取県留置施設視察委員会委員の任命について、審議をお願いする。

委員

4つの関係団体から、4人の方が推薦されているとのことであり、いずれも高い知見をお持ちの、ふさわしい方であると思う。上申のあったとおり進めていただきたい。

委員

適切な推薦団体から推薦されており、適切な方々が選ばれていると思う。この度、女性の委員についても上申されているが、来年度以降も1人以上の女性の委員を上申していただきたい。

委員

すばらしい方を上申していただいているので、このまま進めていただきたい。

4 報告事項

- 懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果（令和6年度第4四半期）（警務部）
- ゴールデンウィーク期間中の渋滞対策（交通部）
- 5月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

(1) 懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果（令和6年度第4四半期）（警務部）

警察本部

警察本部から、令和6年度第4四半期の懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果について報告があった。

委員

懲戒処分等の状況について、本年1月から3月の間に懲戒処分事案が連続的に発生したことは残念である。気を引き締めて任務に当たっていただきたい。

随時監察の実施結果については、今年に入ってから多くの随時監察を実施しておられる。大変な業務であるが、警察職員は一般の県民よりも高い倫理意識が求められていることから、県民の模範となるため、随時監察を積極的に実施していただきたい。

委員

今年に入り、懲戒処分が連続したことはしっかりと受け止めていただきたい。随時監察について、交番、駐在所で指導事項があったとのことである。交番、駐在所は出先機関であり、交番、駐在所の状態を見れば、組織全体に教養が行き渡っているのかが分かるのではないかと思う。

警察官は注意深さが必要であり、整理整頓ができていないことは、他の業務にも影響があるのではないかと思う。厳しい言い方をすると、注意深さの欠如から、物の紛失が起こっているのではないかと思う。結果を基に、しっかりと教養等をお願いしたい。

委員

懲戒処分について、今後はないように努めていただきたい。随時監察について、県民の目に触れやすい交番、駐在所の施設やパトカー内といった警察施設等が乱雑になっている状況を見ると、県民の方々は残念な気持ちになると思うので、きちんと整理整頓をしていただきたい。

(2) ゴールデンウィーク期間中の渋滞対策（交通部）

警察本部

まず、ゴールデンウィーク期間中の渋滞予想箇所について、県内観光客数はコロナ禍前の水準に回復しており、インバウンド観光客の増加等も相まり、鳥取砂丘周辺、水木しげるロード周辺、北条オートキャンプ場等の観光地や、山陰自動車道等の主要道路での渋滞の発生が予想される。特に、鳥取砂丘周辺では、鳥取砂丘入口交差点から国道9号に至るまで渋滞が発生し、緊急車両の通行や、市民生活へ影響を及ぼすため、鳥取県や鳥取市、警察が連携して対策を講ずる必要が

ある。渋滞対策として、国土交通省等の道路管理者と連携し、渋滞状況の早期把握と関係機関との情報共有及び交通機動隊等による情報収集を行い、渋滞状況等の情報を交通・道路情報板に表示したり、道路交通情報センターでのラジオ放送を実施するなどし、運転者への広報を行う。さらに、交通渋滞の状況に応じた信号制御や警察官による交通誘導を実施する。

次に、本年の鳥取砂丘周辺での渋滞対策について、鳥取砂丘における今年の入込予想では、ゴールデンウィーク後半の四連休で多くなる見込みとなっており、渋滞対策が必要となる。渋滞対策に係る事前広報及び当日の情報発信について、鳥取市や鳥取県により、鳥取駅周辺及び県内の観光施設や道の駅等の観光ステーションにおいて、鳥取砂丘の観光案内や迂回路等を記載した案内チラシが配布されるほか、特設ホームページやXにおいて、渋滞状況や駐車場の空き情報が提供される予定である。また、車両の分散化に向け、迂回誘導看板が経路沿線に設置されるほか、交通誘導員により、砂丘周辺の主要交差点や臨時駐車場への誘導が行われる予定である。

最後に、シャトルバスの運行について、5月3日から5月5日の間、西側エリアと東側エリアに分かれてシャトルバスが運行される。今年は、中央病院の駐車場を活用するため、新たに中央病院から鳥取砂丘の間のシャトルバスが運行される予定となっている。

以上のとおり、関係機関と連携し、的確な情報収集による早めの対策により、交通渋滞による県民生活への影響を抑えられるよう、渋滞対策の万全を期していく。

委員

県内の様々な観光地に多くの方が訪れる可能性がある。観光客数がコロナ禍前の水準に回復したことなどにより、交通渋滞の増加が見込まれるため、電光掲示板を活用するなどして渋滞情報を提供していただくなど、様々な対策のもと事故が発生しないようお願いしたい。

委員

鳥取県への観光客が増加する可能性がある。様々な対策を立てていただいているが、中でも車両の分散誘導は非常に有効であり、県外の方は道に慣れていないため、分かりやすい誘導をしていただきたい。ゴールデンウィーク期間中は、県内への観光客を集客する時期であることから、県民及び観光に来られた方が無事故で終わられるよう、よろしく願います。

委員

県内の一部小・中学校では、ゴールデンウィーク期間中の平日を休みにする取組がある。県外から、道に不慣れな方が来られることに加え、子どもたちの動きも活発であることから、そういった観点でも事故防止対策をしていただきたい。

(3) 5月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

警察本部

5月中の入校関係について、採用時教養は4月に入校した初任科第101期・102期に加え、昨年採用した長期課程が職場実習を終え、5月8日から初任補修科第48期として入校予定である。専科については、警護専科、実戦的総合訓練指導者専科が入校予定である。

令和7年5月中の行事・訓練関係等について、初任科においては警察官としての職責の自覚、誇りと使命感の醸成を目的に、5月中旬に拳銃貸与式を実施することとしている。初任補修科においては、入校式を挙げるほか、警務部長による訓育を実施する。

令和7年4月中の行事・訓練等の状況については、入校式を挙げるほか、警務部長訓育、久松山・本陣山登山訓練、私服実務研修、10キロマラソン、35キロ強歩訓練、部外講習を実施又は実施予定である。4月30日には、警察行政職員等初任科第35期の卒業式を行う予定である。

委員

入校式に出席させていただいたが、その際入校生の目が輝いており、期待に満ちあふれていると感じた。入校生の目の輝きがいつまでも続くよう、多くの教養や訓練を重ね、立派な警察官に育てていただきたい。入校生については、元気さと真面目さを大事にして頑張ってもらいたい。

委員

5月に拳銃貸与式を実施される予定であるが、拳銃を貸与される意味合いをしっかりと教養していただきたい。大変なカリキュラムがスタートするが、厳しさの中にもやりがいや、楽しさを見つけていただけるような指導をお願いしたい。

委員

厳しい訓練が続いて大変だと思うが、警察官と警察行政職員等と一緒に訓練を実施する機会があり、素晴らしいと思う。入校中の教養・訓練を頑張ってもらいたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取2件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞3件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

鳥取県留置施設視察委員会の任命（令和7年度）

4 報告事項

監察報告

5 決裁

- ・公安委員会宛て苦情に対する回答について
- ・自動車の使用制限に関する事務処理規程等の一部改正について

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。